



▲差別問題に直面した母の葛藤を表現する小林さん

人権週間講演会

母さん、笑って

12月5日、福岡県立大学講堂で人権週間講演会が開催され、約380人が参加しました。

オープニングの田川地区中学校人権作文コンテストの受賞者表彰式では、中田由姫さん（金川中1年）と田籠仁さん（猪位金中2年）が表彰され、作文を朗読しました。

続いて、女優 小林泉さんによるひとり芝居「母さん笑って」が上演されました。「母さん笑って」は、主に結婚差別にスポットをあて、差別問題に直面した人間の心の内面を深く描いた作品です。

小林さんは、芝居後のトークで、「みなさんも家庭の中で差別について家族と話し合ってください」と語りました。

生涯スポーツセミナーを開催

スポーツを楽しもう

12月6日、平成21年度スポーツフェスタ・ふくおか「生涯スポーツセミナー」が開催され、カルタ大会やプロスポーツ選手との交流会、スポーツ講演会などが行われました。

カルタ大会は、毎年田川市子どもカルタ大会実行委員会主催で行っているもので、生涯スポーツセミナーの一環として行った今回は、市内の小中学生約550人、90チームが参加しました。気合い十分の子どもたちは、読み手が読み始めると、次々に札に手を伸ばしていました。

結果は、優勝「吉田強愛」（金川）、準優勝「大浦風林火山」（大浦）、3位「吉田弱愛」（金川）でした。上位10チームが1月17日（日）に開催される筑豊ブロック大会に出場します。

また、スポーツ講演会では、前ソフトバンクホークスコーチ森脇浩司さんが「選手育成の秘けつ」は「選手と家族のように接し、日々の生活面から競技に取り組む姿勢を作るよう指導すること」と体験を交えて語りました。

引き続き行われた「プロスポーツ選手との交流会」では、福岡ソフトバンクホークス、アビスパ福岡、ライジング福岡の選手やコーチが、スポーツの楽しさを知ってもらおうと、それぞれ野球、サッカー、バスケットボールの基本的な動きを指導しました。参加した市内の小中学生350人は楽しそうにボールを追っていました。



▲読み手の声にすばやく反応



▲選手育成について語る森脇さん